

「第4回APEC運輸大臣会合」の結果について

1. 日程：
平成16年7月28日(水)、29日(木)[現地時間]
2. 場所：
インドネシア、バリ
3. 当省からの出席者：
洞国土交通審議官、後藤総合政策局国際交通政策室長他が参加。
4. 出席国・地域：
下記 21 カ国・地域の運輸担当大臣乃至代理
日本、韓国、中国、香港、台湾、ロシア、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、シンガポール、ブルネイ、ヴィエトナム、米国、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、カナダ、メキシコ、チリ、ペルー
5. 結果概要：
 - (1)参加大臣によるスピーチ:各国・地域からそれぞれの運輸事情等について紹介。
 - (2)以下の3テーマについて議論
 - ①ボゴール目標の実行(※)
 - ②安全・セキュリティ
 - ③人材養成
 - (※)ボゴール目標:1994年のAPEC首脳会議(インドネシア・ボゴール)で採択された宣言による貿易・投資の自由化の目標。先進国は2010年までに、途上国は2020年までに自由化を達成することとされている。
 - (3)本会合の結果として、APECの運輸分野における将来の優先事項及びそれを実現するための実行計画をとりまとめた大臣共同声明を採択。

平成16年7月29日

<問い合わせ先>

総合政策局国際交通政策室

(内線 25752)

TEL:03-5253-8111(代表)